

各 位



平成23年6月17日

会社名 株式会社ストロベリーコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 小原 正美
(JASDAQ・コード 3429)
問合せ先 経営管理部長 吉成 睦
TEL: 03-5953-5115

当社株式の「債務超過」の猶予期間入り銘柄及び監視区分の指定に関するお知らせ

当社は、本日、有価証券報告書を提出し、平成23年3月期において債務超過の状態に陥ったことから、本日の株式会社大阪証券取引所発表のとおり、「JASDAQにおける有価証券上場規程」第47条第1項第3号（債務超過）の猶予期間入り銘柄となり、同時に監視区分銘柄に指定されました。

株主様ならびに投資家の皆様方に多大なるご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後、何らかの決定をした場合にはすみやかにお知らせいたします。

記

1. 対象となる法定開示書類

有価証券報告書（自平成22年4月1日至平成23年3月31日）

2. 債務超過に至った経緯

当社グループ関連業界におきましては、携帯電話市場での需要の減少傾向が続き、ノートパソコン市場につきましては、需要は堅調に拡大しましたが円高傾向が続いていることなどにより価格競争は一段と激化し、厳しい経営環境が続きました。このような状況のもと、携帯電話向けヒンジ事業の生産拠点の縮小・外部委託をはじめとする経営合理化策や、当該事業の縮小・一部撤退など、収益性の改善を目的とした施策を実施いたしました。これらの結果、平成23年3月期連結会計年度において、1,772百万円の当期純損失を計上し、純資産が△371百万円となりました。

3. 連結財政状態について

株式会社大阪証券取引所の「JASDAQにおける有価証券上場規程」第47条第1項第3号（債務超過）の規定する「純資産の額」とは、「純資産の部の合計額＋特別法上の準備金等－（新株予約権＋少数株主持分）」であります。当社グループの平成23年3月期の純資産は△371百万円ですが、新株予約権が4百万円であることから、375百万円の債務超過となっております。

4. 猶予期間

平成23年4月1日～平成24年3月31日

5. 今後の見通し

当社グループの平成24年3月期の連結業績予想は、当期純損失300百万円を計画しておりますので、業績予想を達成した場合でも、債務超過の解消は困難な状況であります。

なお、現時点では具体的な計画はありませんが、当社グループは、債務超過を解消するため、今後様々な対策を検討する予定です。

(ご参考) 最近3年間の連結業績

連結会計年度	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
売上高 (百万円)	6,096	3,237	2,467
営業利益 (百万円)	129	△671	△956
経常利益 (百万円)	92	△696	△1,020
当期純利益 (百万円)	73	△697	△1,772
総資産 (百万円)	3,025	2,840	1,173
純資産 (百万円)	2,174	1,420	△371
1株当たり当期純利益 (円)	1,825.87	△17,279.96	△43,930.62
1株当たり純資産 (円)	53,718.56	35,031.88	△9,309.25

以上